

ドーハ 2019 世界陸上競技選手権大会
トラック & フィールド種目日本代表選手選考方針

1. 選手団編成の考え方

2020年東京オリンピックの目標は、より多くのメダルや入賞を獲得するとともに、大会により多くの競技者を送り込むことにある。その課題を達成するために、本大会へは参加資格を有する競技者を、選考要項に基づき最大限派遣する。

2. 選考競技会

第103回日本陸上競技選手権大会

※その他の競技会については、今後検討。

3. 参加資格

(1) IAAF ワールドランキング ※2019年1月公表予定

国際陸上競技連盟（以下、IAAF）が定めるランキング内の競技者が、本大会への出場する資格を得る。ランキングは2019年9月6日公表予定。

(2) 参加標準記録

今までの参加標準記録とは異なり、かなり高いレベルの記録が設定される。2018年11月1日発表予定。

(3) リレー

各リレーとも、下記の条件を満たした16カ国に出場権が与えられる。

1) 4×100m リレー及び男女4×400m リレー

①2019年に開催されるワールドリレーズの男女4×100m リレー及び男女4×400m リレーの各上位10カ国。

②上記①以外で、参加標準記録有効期間内の記録上位6カ国。ただし、ホスト国（カタール）が①及び②に含まれない場合は、②による出場国は5ヶ国となる。

2) 混合4×400m リレー

①2019年に開催されるワールドリレーズの混合4×400m リレーの各上位12カ国。

②上記①以外で、参加標準記録有効期間内の記録上位4カ国。ただし、ホスト国（カタール）が①及び②に含まれない場合は、②による出場国は3ヶ国となる。

(4) 資格記録（ランキング対象となる記録、参加標準記録）有効期限

10000m、混成競技、リレー 2018年3月7日～2019年9月6日

その他の種目 2018年9月7日～2019年9月6日

4. 選考基準及び派遣の条件

(1) 個人種目

IAAF ワールドランキングのポイントも選考基準として加える。

(2) リレー種目

出場権を獲得した場合は、代表チームを本大会に派遣する。

(3) 派遣設定記録

設定については今後検討。

5. 補足

1) 各種目のエントリー数は、最大限派遣する方針ではあるが、故障等の理由により競技力を発揮できないと判断される場合は、国際陸上競技連盟が定める各種目の上限の枠（各種目3名）を用いない可能性もある。

2) 本大会までに故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合は代表を取消すことがある。

3) 本大会は、2019年9月27日～10月6日までドーハ（カタール）で開催される。

以上

ドーハ 2019 世界陸上競技選手権大会

トラック&フィールド種目ターゲットナンバー・参加標準記録

男子		種目	女子	
ターゲットナンバー	参加標準記録 ※2018/11/1 発表予定		ターゲットナンバー	参加標準記録 ※2018/11/1 発表予定
56		100m	56	
56		200m	56	
48		400m	48	
48		800m	48	
45		1500m	45	
42		5000m	42	
27		10000m	27	
40		110mH/100mH	40	
40		400mH	40	
45		3000mSC	45	
32		走高跳	32	
32		棒高跳	32	
32		走幅跳	32	
32		三段跳	32	
32		砲丸投	32	
32		円盤投	32	
32		ハンマー投	32	
32		やり投	32	
24		十種競技/七種競技	24	
2019 ワールドリレーズ上位 10 ヶ国 + IAAF ランキング上位 6 ヶ国		4×100m リレー 4×400m リレー	2019 ワールドリレーズ上位 10 ヶ国 + IAAF ランキング上位 6 ヶ国	
2019 ワールドリレーズ上位 12 ヶ国 + IAAF ランキング上位 4 ヶ国		混合 4×400m リレー		